

平成26年(2014年)9月の結果 (二人以上の世帯)

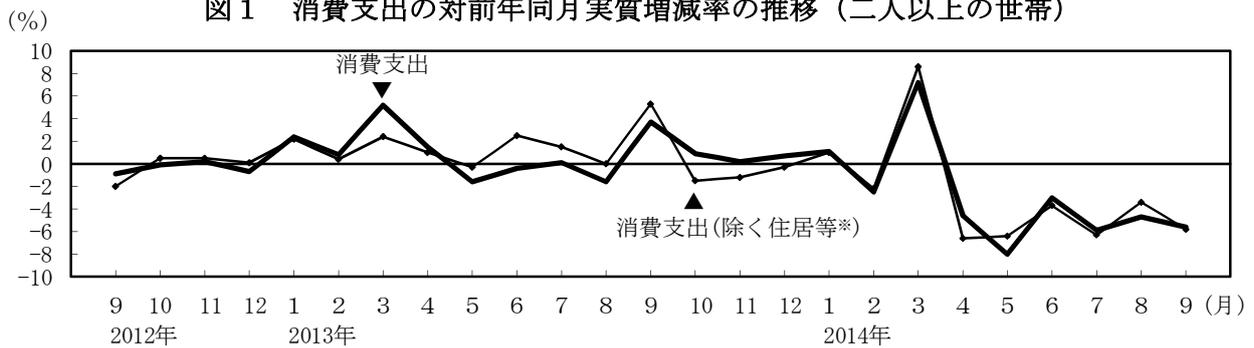
二人以上の世帯

・消費支出は、 前年同月比	1世帯当たり 275,226 円 実質 5.6%の減少 名目 1.9%の減少	前月比(季節調整値)	実質 1.5%の増加
・消費支出(除く住居等*)は、 前年同月比	1世帯当たり 237,685 円 実質 5.8%の減少 名目 2.1%の減少	前月比(季節調整値)	実質 1.1%の減少
・勤労者世帯の実収入は、 前年同月比	1世帯当たり 421,809 円 実質 6.0%の減少 名目 2.3%の減少		

※:「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

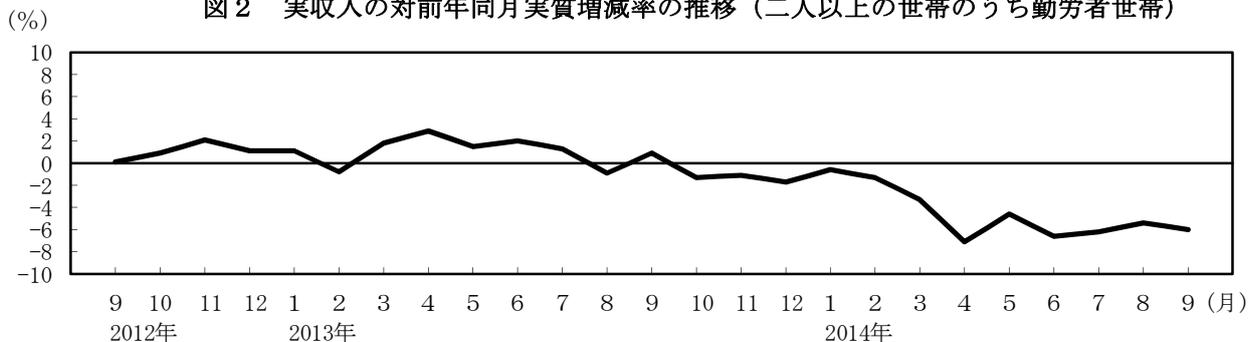
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	2013年				2014年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
消費支出	3.7	0.9	0.2	0.7	1.1	-2.5	7.2	-4.6	-8.0	-3.0	-5.9	-4.7	-5.6
消費支出(除く住居等*)	5.3	-1.5	-1.2	-0.3	1.0	-2.2	8.6	-6.6	-6.4	-3.7	-6.3	-3.4	-5.8

2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	2013年				2014年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実収入	0.9	-1.3	-1.1	-1.7	-0.6	-1.3	-3.3	-7.1	-4.6	-6.6	-6.2	-5.4	-6.0
可処分所得	-0.4	-1.4	-1.4	-2.1	-0.5	-1.3	-3.2	-7.0	-3.4	-8.0	-5.2	-5.2	-5.9
消費支出	3.7	-1.0	-1.6	-2.3	-0.2	-3.2	7.5	-6.9	-8.8	-4.5	-3.6	-6.0	-7.3
平均消費性向*	3.5	0.3	-0.2	-0.1	0.3	-1.6	10.6	0.1	-5.4	1.9	1.2	-0.6	-1.4

*: 対前年同月ポイント差

3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2014年9月 - 二人以上の世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への寄与度 (%)	摘要	備考
		名目	実質			
消費支出	275,226	-1.9	-5.6	-		6か月連続の実質減少
食料	68,426	2.1	-2.9	-0.69	<減少> 外食,野菜・海藻など	6か月連続の実質減少
住居	15,319	-10.4	-11.5	-0.70	<減少> 設備修繕・維持	3か月連続の実質減少
光熱・水道	20,352	-3.7	-8.5	-0.64	<減少> 電気代,上下水道料など	6か月連続の実質減少
家具・家事用品	8,888	-8.2	-11.9	-0.41	<減少> 家庭用耐久財,寝具類など	6か月連続の実質減少
被服及び履物	9,178	0.0	-2.7	-0.09	<減少> 洋服,被服関連サービスなど	2か月ぶりの実質減少
保健医療	11,747	-7.6	-9.1	-0.41	<減少> 保健医療サービス,保健医療用品・器具など	6か月連続の実質減少
交通・通信	45,598	8.8	6.3	0.94	<増加> 自動車等関係費,通信	3か月ぶりの実質増加
教育	11,951	-28.7	-30.2	-1.80	<減少> 授業料等	2か月連続の実質減少
教養娯楽	27,572	1.8	-2.8	-0.27	<減少> 教養娯楽用耐久財,教養娯楽用品など	6か月連続の実質減少
その他の消費支出	56,196	-3.3	(-6.9)	(-1.43)	<減少> 諸雑費,交際費など	11か月連続の実質減少
消費支出 (除く住居等)	237,685	-2.1	-5.8	-		6か月連続の実質減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

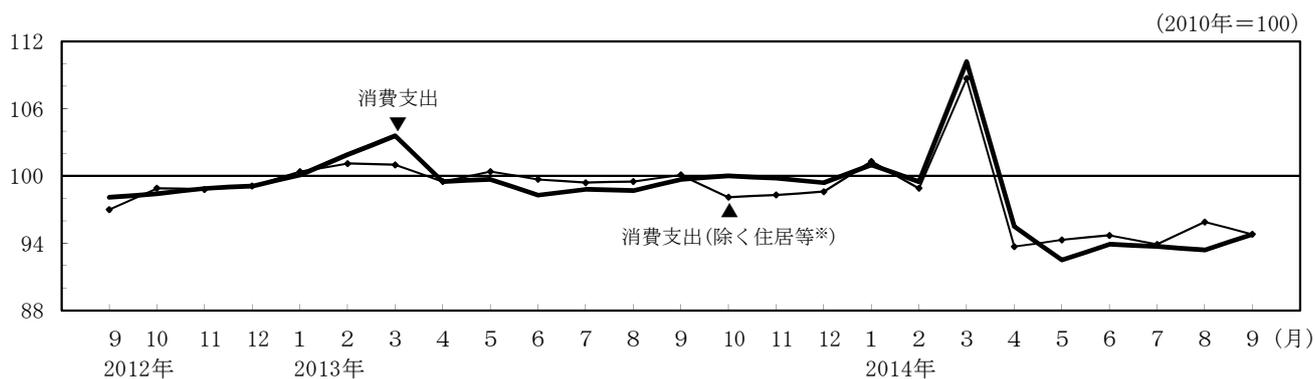
消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中分類	実質寄与度		品目
<減少項目>			
授業料等	[-1.87]	私立大学,専修学校
設備修繕・維持	[-0.79]	外壁・塀等工事費
諸雑費	[-0.61]	婚礼関係費,装身具
交際費	[-0.56]	贈与金,つきあい費
電気代	[-0.51]	
家庭用耐久財	[-0.24]	エアコンディショナ,電気洗濯機
外食	[-0.19]	飲酒代,すし(外食)
<増加項目>			
自動車等関係費	[0.97]	自動車購入,自動車整備費

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）



	2013年				2014年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
消費支出	99.7	100.0	99.8	99.4	101.0	99.5	110.2	95.5	92.5	93.9	93.7	93.4	94.8
対前月変化率(%)	1.0	0.3	-0.2	-0.4	1.6	-1.5	10.8	-13.3	-3.1	1.5	-0.2	-0.3	1.5
消費支出(除く住居等*)	100.1	98.1	98.3	98.6	101.3	98.9	108.7	93.7	94.3	94.7	93.9	95.9	94.8
対前月変化率(%)	0.6	-2.0	0.2	0.3	2.7	-2.4	9.9	-13.8	0.6	0.4	-0.8	2.1	-1.1

※：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

2 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。

4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（2014年9月－二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	備考
		名目	実質		
実収入	421,809	-2.3	-6.0	—	12か月連続の実質減少
世帯主収入	351,830	-1.5	-5.2	-4.33	7か月連続の実質減少
定期収入	346,945	-1.3	-5.0	-4.05	8か月連続の実質減少
配偶者の収入	50,958	-6.5	-10.0	-1.26	14か月連続の実質減少
他の世帯員収入	6,655	-17.5	-20.6	-0.38	11か月連続の実質減少
非消費支出	79,954	-2.9	—	—	3か月連続の減少
可処分所得	341,855	-2.2	-5.9	—	14か月連続の実質減少
消費支出	303,614	-3.7	-7.3	—	6か月連続の実質減少
平均消費性向(%)	88.8	(前年同月) (ポイント差) 90.2 -1.4			季節調整値で見ると、75.5%で、前月に比べ、2.5ポイントの上昇となった。

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入や社会保障給付などが含まれる。